

## 令和4年度島根県スポーツ少年団

### ジュニアリーダースクール及びリーダー研修会 活動報告

日 時：令和4年7月2日（土）～3日（日）

会 場：国立三瓶青少年交流の家（大田市）

参加者：ジュニアリーダースクール 29名、リーダー研修会 5名

本来ならば例年のとおり県立少年自然の家で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の療養所となったことにより、急遽会場を変更し期日は変更することなく開催いたしました。また、開催期間中は感染対策を講じるとともに熱中症対策にも考慮し、子ども達の体調を優先に実施する形となりました。

県内各地からスクール29名、リーダー研修5名、計34名の参加をいただき開催しました。始めは同じ団所属の者同士で話す場面が多く、班の中での会話もぎこちなさを感じられましたが、グループに分かれ自己紹介や意見交換などを経て、徐々に打ち解けていっている様子でした。また、急遽参加できなくなった指導者とリモートにより「キャッチ」というゲームを物語形式で行いました。

昼食後には、施設プログラムである「SAP」を行い、施設指導員の指導の下、様々なゲームを行いました。はじめは、上手く行かずネガティブな言葉が目立ちましたが、皆で上手く進めて行くにはどうしたら良いのか意見を出し合いながら取り組み、徐々にポジティブな言葉に変わっていました。

「運動プログラムを考える」では、班ごとにゲームを考え、考案しゲームを他の班が体験してみることで、試行錯誤することでコミュニケーションスキルの向上を図りました。

夕食後には「キャンドルのつどい」を実施しました。1作品目は各班で図柄を作成し、ロウソクをどこに配置するのか話し合いながら、また上から位置を確認しながら、創作活動に取り組んでいました。2作品目については、全体でスポーツ少年団のマークを作成しました。

二日目は、「ジュニア部会・学習」や「グループワーク」を実施しました。

スポーツをする上での熱中症対策やどのように安全を確保しながら楽しい活動としていくのかを学びました。

最後に「振り返り」では、初日にリモートで開催した「キャッチ」を子ども達それぞれが作成した物語バージョンを発表しました。

全体をとおして、体調不良者が出ることもなく、参加した団員が皆元気な笑顔で全プログラムを修了することができました。

スクールに参加の27人がジュニアリーダーとして認定され、今後も自身の団での活躍はもちろん、様々な事業やリーダー会活動にも積極的に参加してくれることを期待しています。

○活動内容



